

分類	3-48	教科名	理科	科目名	化学Ⅱ（選択）		
対象学科（コース）	全学科			学 年	3	単位数	2
指 導 目 標	自然の事物・現象に関心を持ち、それらに対する原理を実証的・論理的に探求できる力を養うと共に、事実に基づいた総合的・科学的判断が出来る力を養う。						
内 容	各物質は様々な原子の結合で構成されていることを理解させる。さらに、原子同士の結合にも原理・法則があることを理解させる。 我々の身のまわりに存在する高分子化合物の性質について学ぶ。						
内容の取扱い	分子模型を作りながら、原子同士の結合、それぞれの分子の形、大きさを比較しながら分子に対する概念をつかませる。さらに、発展させ高分子化合物に対する概念を持たせ、身の周りの個々の高分子化合物の性質を理解させる。						
指 導 計 画	学 期	指 導 事 項	指 導 内 容			予定時間	
	1 学 期 4～6 月	分子の形・大きさ	様々な分子模型を作り、分子の形や大きさの概念をつかませる			20	
		脂肪族炭化水素	炭化水素の分類を身に付けさせる 飽和炭化水素・不飽和炭化水素の構造を学習させる				
		芳香族炭化水素	官能基による有機化合物の分類を身に付けさせる アルコールとエテルの性質を学ばせる カルボン酸とエステルの性質を学ばせる				
	2 学 期 7～11 月	油脂と石鹸	実際に油脂から石鹸を作り、その性質を学ばせる			28	
		高分子化合物	高分子化合物の作り方として、縮合重合と付加重合の反応について理解させる				
		食品品中の成分 食品添加物	三大栄養素、特に炭水化物・たんぱく質についての知識を身に付けさせる。 食品添加物と保存料の知識を身に付けさせる。				
3 学 期 12～3 月	衣料の構造と繊維の分類	天然繊維（植物繊維・動物繊維）と化学繊維について基本的な知識を身に付けさせる。			22		
教科書・副教材他							

評 価 規 準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評価比重
講 義	◎	○		○	
実 験 ・ 観 察	◎	○	○		
定 期 考 査		○		◎	